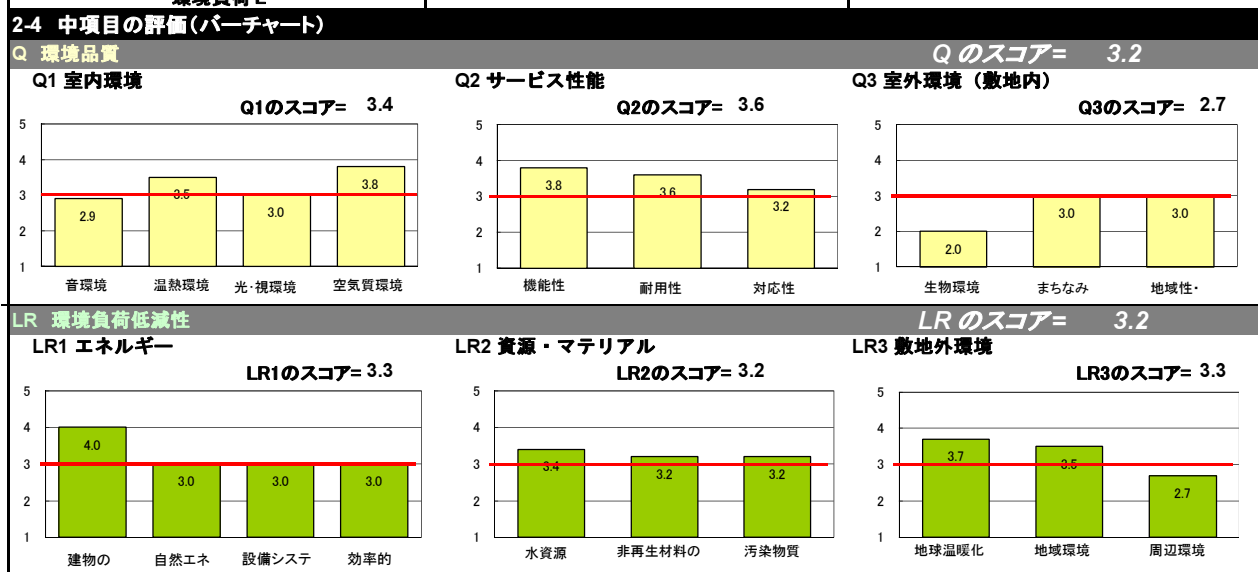
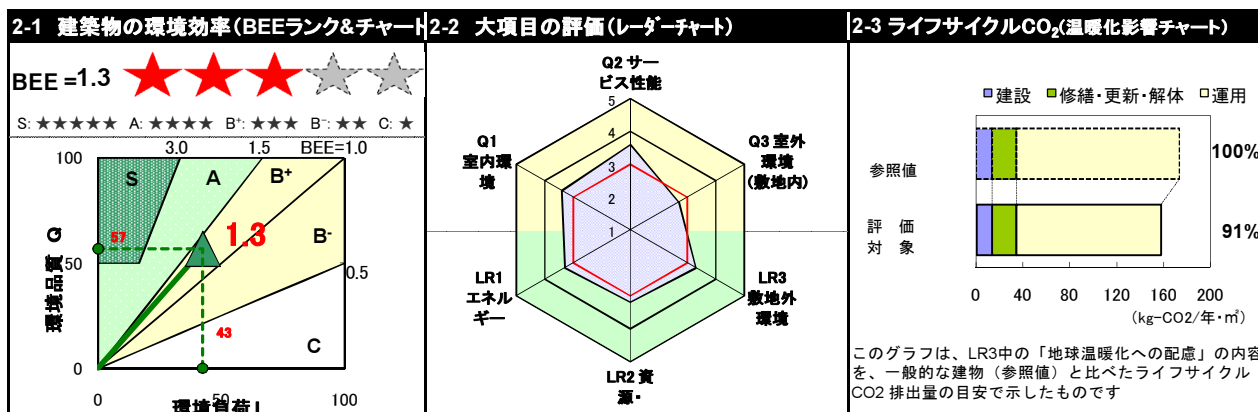


CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	医療法人社団洛和会 洛和会音羽	階数	地上4階、地下1階
建設地	京都府京都市山科区音羽珍事町2	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、第一種中高層住	平均居住人員	330 人
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年7月 予定	評価の実施日	2010年5月10日
敷地面積	14,657 m ²	作成者	
建築面積	1,766 m ²	確認日	
延床面積	7,197 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
病院増築並びに設備更新等の将来対応が容易に着手出来るように構造ではラーメン構造を採用。将来の間仕切り対応が容易になるように計画している。また、建物全般のメンテナンス性を考慮し、耐用年数の良い仕上材・設備材料の選定を行っている。設備計画においては、病棟内の温湿度環境並びに省エネルギーを重視した計画としている。	特になし	
Q1 室内環境 空調はゾーニングと局所空調を行い各エリア・居室ごとの適切な温湿度環境形成に努める。また、内装仕上材等の塗材にはF☆☆☆☆製品を使用し、化学汚染物質による空気質汚染の軽減に努めている。	Q2 サービス性能 病院機能等の更新を考慮し、構造にラーメン構造を採用することでプランニングの自由度の向上を図っている。また、計画建物全般のメンテナンス性を考慮し、耐用年数の良い仕上及び設備配管・ダクト等の材料を選定。	Q3 室外環境(敷地内) 各病室からの視線を考慮し、病棟間には既存樹木を生かした緑地帯を整備している。また、屋上緑化を図ることによる病棟内外空間からの緑の演出等の景観形成に配慮した計画としている。
LR1 エネルギー 夜間電力を利用したオール電化システム及び、空調・照明設備の運転制御の細分化を図ることにより、省エネルギー並びにCO ₂ の排出削減を図る。	LR2 資源・マテリアル 衛生的で安全な節水型器具を採用。また、仕上げ材の一部にはリサイクル材使用製品を採用し、資源の削減に努める。	LR3 敷地外環境 各照明器具の照度は(社)照明学会 屋内照明基準を適用。また居室・共用ホール・廊下の照明器具は、埋込カバー・ルーバー付としグレア対策を実施、室内外の光環境への配慮を行う。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される